

平成27年度

事業報告書

自：平成27年 4月 1日

至：平成28年 3月31日



社会福祉法人 緑 風 会

特別養護老人ホームしいの木の郷
デイサービスセンターしいの木の郷
居宅介護支援事業所しいの木の郷
地域包括支援センターしいの木の郷
しいの木の郷訪問介護事業所
ケアハウスしいの木の郷
特別養護老人ホーム花ノ木の郷
ショートステイ花ノ木の郷
デイサービスセンター花ノ木の郷
居宅介護支援センター花ノ木の郷

1. 拠点の概要

(1) 拠点区分：しいの木の郷

埼玉県三郷市番匠免1-314

事業名	事業内容	事業開始年月日	定員
特別養護老人ホーム しいの木の郷	介護老人福祉施設	平成11年 5月1日	70名
社会福祉法人緑風会 しいの木の郷	(介護予防) 短期入所生活介護	平成11年 5月1日	10名
デイサービスセンター しいの木の郷	(介護予防) 通所介護	平成11年 6月1日	13名
居宅介護支援事業所 しいの木の郷	居宅介護支援	平成11年10月1日	
地域包括支援センター しいの木の郷	介護予防支援	平成20年 4月1日	
しいの木の郷訪問介護 事業所	(介護予防) 訪問介護	平成12年 4月1日	

(2) 拠点区分：ケアハウス

埼玉県三郷市番匠免1-314

事業名	事業内容	事業開始年月日	定員
ケアハウス しいの木の郷	軽費老人ホーム	平成11年 7月1日	24名

(3) 拠点区分：花ノ木の郷

埼玉県桶川市加納1824-1

事業名	事業内容	事業開始年月日	定員
特別養護老人ホーム 花ノ木の郷	介護老人福祉施設	平成19年 5月1日	90名
ショートステイ 花ノ木の郷	(介護予防) 短期入所生活介護	平成19年 5月1日	10名
デイサービスセンター 花ノ木の郷	(介護予防) 通所介護	平成19年 5月1日	13名
居宅介護支援センター 花ノ木の郷	居宅介護支援	平成20年 4月1日	

2. 役員等

(1) 理事6名 幹事2名 任期：平成28年2月13日～平成30年2月12日

役職	氏名	備考
理事長	篠田 實	
理事長代理	岩田 誠	
理事	酒井 雄二	
理事	篠田 浩一	
理事	関根 隆俊	
理事	畠山 義行	
幹事	堀切 貞司	
幹事	島田 規男	

(2) 評議員13名 任期：平成28年2月13日～平成30年2月12日

役職	氏名	備考
評議員	篠田 實	
評議員	斉藤 美智也	
評議員	小阪 秀史	
評議員	飯山 正一	
評議員	木津 祐教	
評議員	篠田 登喜雄	
評議員	馬場 基	
評議員	篠田 竹史	
評議員	関根 隆俊	
評議員	岩田 誠	
評議員	酒井 雄二	
評議員	篠田 浩一	
評議員	畠山 義行	

3. 理事会の状況

第1回理事会

日 時： 平成27年 5月25日 午前 9時50分 ～ 10時30分

出席者： 理事5名 監事1名 他2名

審議事項： 第一号議案 平成26年度事業報告について
第二号議案 平成26年度決算報告について
第三号議案 定款変更について
第四号議案 花ノ木の郷長期運営資金の借入について

報告事項： 1. 監事による監査報告
2. 理事長専決による報告
3. 処遇改善加算について

第2回理事会

日 時： 平成27年 9月24日 午前 9時30分 ～ 9時45分

出席者： 理事5名 他2名

審議事項： 第一号議案 しいの木の郷大規模修繕について
第二号議案 しいの木の郷補正予算（案）について
第三号議案 大規模修繕の契約方法について

報告事項： 1. 福祉監査課による実地指導について
2. 諸規程の改正について

第3回理事会

日 時： 平成28年 1月28日 午前10時25分 ～ 11時10分

出席者： 理事6名 監事1名 他2名

審議事項： 第一号議案 平成27年度補正予算（案）について
第二号議案 評議員の同意について
第三号議案 理事長の互選について
第四号議案 就業規則の一部改正について
第五号議案 非常勤雇用職員就業規則の一部改正について
第六号議案 給与規程の一部改正について
第七号議案 仕事と生活の調和に関する指針の制定について

報告事項： 1. しいの木の郷大規模修繕工事について
2. 三郷市地域包括支援センター業務受託契約の終了について
3. 花ノ木の郷の敷地に関する協議について
4. 赤い羽根共同募金会の監査について
5. 平成27年度における理事長専決事案について

第4回理事会

日 時： 平成28年 3月24日 午前10時10分 ～ 10時45分

出席者： 理事6名 他2名

審議事項： 第一号議案 平成28年度事業計画について
第二号議案 平成28年度予算案について
第三号議案 花ノ木の郷長期運営資金の借入れについて

報告事項： 1. しいの木の郷大規模修繕工事について
2. 埼玉県特別養護老人ホーム等整備支援融資制度に係る融資利率について

4. 評議員会の状況

第1回評議員会

日 時： 平成27年 5月25日 午前 9時00分 ～ 9時45分

出席者： 評議員11名 監事1名 他2名

審議事項： 第一号議案 平成26年度事業報告について
第二号議案 平成26年度決算報告について
第三号議案 定款変更について
第四号議案 花ノ木の郷長期運営資金の借入について

報告事項： 1. 監事による監査報告
2. 理事長専決による報告
3. 処遇改善加算について

第2回評議員会

日 時： 平成27年 9月24日 午前 9時00分 ～ 9時20分

出席者： 評議員8名 他2名

審議事項： 第一号議案 しいの木の郷大規模修繕について
第二号議案 しいの木の郷補正予算（案）について
第三号議案 大規模修繕の契約方法について

報告事項： 1. 福祉監査課による実地指導について
2. 諸規程の改正について

第3回評議員会

日 時： 平成28年 1月28日 午前 9時00分 ～ 10時20分

出席者： 評議員11名 監事1名 他2名

審議事項： 第一号議案 平成27年度補正予算（案）について

第二号議案 理事の選任について

第三号議案 監事の選任について

第四号議案 就業規則の一部改正について

第五号議案 非常勤雇用職員就業規則の一部改正について

第六号議案 給与規程の一部改正について

第七号議案 仕事と生活の調和に関する指針の制定について

- 報告事項： 1. しいの木の郷大規模修繕工事について
2. 三郷市地域包括支援センター業務受託契約の終了について
3. 花ノ木の郷の敷地に関する協議について
4. 赤い羽根共同募金会の監査について
5. 平成27年度における理事長専決事案について

第4回評議員会

日 時： 平成28年 3月24日 午前 9時00分 ～ 9時55分

出席者： 評議員12名 他2名

審議事項： 第一号議案 平成28年度事業計画について

第二号議案 平成28年度予算案について

第三号議案 花ノ木の郷長期運営資金の借入れについて

- 報告事項： 1. しいの木の郷大規模修繕工事について
2. 埼玉県特別養護老人ホーム等整備支援融資制度に係る融資利率について

5. 職員の状況

平成28年 3月31日 現在

拠点名	正規職員	非正規職員	拠点計
しいの木の郷	38人	32人	70人
ケアハウス	2人	3人	5人
花ノ木の郷	48人	31人	79人
合 計	88人	66人	154人

(嘱託医は除く)

6. 事業別事業報告

拠点区分:しいの木の郷

事業所名 特別養護老人ホームしいの木の郷

1. 収入

	平成26年度	平成27年度	前期比
介護保険請求額	176,464,187	219,373,731	124.3%
利用者負担額	37,175,547	53,289,769	143.3%

2. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1												
要支援2												
要介護1	180	186	180	186	186	180	155	150	155	154	145	155
要介護2	300	310	301	341	277	260	310	368	372	314	289	310
要介護3	273	344	376	372	411	408	403	354	414	474	425	496
要介護4	354	371	322	388	409	420	341	330	341	341	319	372
要介護5	674	709	720	751	806	772	832	774	768	722	695	765
小計	1,781	1,920	1,899	2,038	2,089	2,040	2,041	1,976	2,050	2,005	1,873	2,098

(実人数)

新規	2	4	2	3	1	0	0	1	3	1	2	1
終了	3	0	0	1	0	0	1	2	1	2	2	0

合計 23,810

3. 概況及び動向

平成26年度に行った増床部分について、職員の採用・定着が進み平成27年7月をもって満床となった。介護保険のマイナス改正による影響はあったものの、地域区分と見直しと増床を行ったことにより前年度に比べて収入が増加した。

平成27年3月時点で395名の入所待機者がいるため、退所の際は速やかに案内できる体制を整えた。また、長期入院による退所についても、退院できる状態になった時点でショートステイにて受け入れ、再入所できるよう対応した。

収入面では増床に加え、利用者負担が増加する法改正の影響もありどちらも増収となった。

4. 課題

入所待機者は多数いるものの、長期入院によるベッド占有が課題である。

入院した場合も概ね3ヶ月程度はベッドを確保することとなっているため、担当医や御家族と連絡を密にし、退院の見込みについて情報収集を行うこととする。

事業所名

社会福祉法人 緑風会 しいの木の郷

1. 収入

	平成26年度	平成27年度	前期比
介護保険請求額	20,347,254	21,741,168	106.9%
利用者負担額	5,434,042	4,834,726	89.0%

2. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0
要介護1	3	3	3	6	3	0	5	44	49	29	3	0
要介護2	30	21	38	40	61	66	43	26	35	4	17	17
要介護3	44	44	63	85	88	87	115	72	69	65	38	55
要介護4	35	42	34	26	26	29	29	26	26	34	68	31
要介護5	36	17	16	16	43	49	55	33	28	40	40	38
小計	148	127	154	173	221	231	251	205	207	172	166	141

(実人数)

新規	0	1	2	1	1	0	2	0	0	1	1	2
終了	18	18	20	20	19	23	25	25	17	15	15	14

合計 2,196

3. 概況及び動向

緊急時の受け入れ体制として性別による居室制限がない限り原則受け入れることとした結果、新規の総数は25件であった。そのうち、継続利用につながった件数は11件であった。

年度末にかけて入院による利用中止者が増加したことに加え、地域包括支援センターの受託終了に伴う異動があり、安定稼働が困難であった。

介護保険請求額と比較して利用者負担額が減少しているが、減額認定を受けた利用者が増加したためである。終了に関しては死亡時を除いて利用終了の意思表示がされない事業形態であるため、各月の実人数を記載した。

4. 課題

月別・季節別の利用人数に大幅な差があり、最大で延110人の差となっている。

ショートステイの利用中止の主な要因は施設入所・入院・死亡であり、その多くは夏の終わりから冬にかけて増加する傾向にある。その時期は本体施設においても入院・死亡による退所が増えることとなるため、ショートステイによる空床利用によって補いたいところではあるが、前述の理由によりショートステイ自体の利用も減ってしまうため、実現が困難である。気候が安定し退院による在宅復帰者の利用希望があれば細やかに対応し、新規獲得及び継続利用を目指す。

事業所名

デイサービスセンターしいの木の郷

1. 収入

	平成26年度	平成27年度	前期比
介護保険請求額	23,257,343	21,841,693	93.9%
利用者負担額	2,584,386	2,879,744	111.4%

2. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1												3
要支援2	41	46	48	50	48	47	54	34	36	39	41	30
要介護1	72	66	57	49	61	65	77	87	69	71	56	75
要介護2	34	30	33	31	35	16	19	11	29	29	36	40
要介護3	62	66	59	71	62	84	96	76	59	58	74	88
要介護4			1	9	9	7	11	13	10	12	19	25
要介護5	24	23	28	22	19	17	14	16	15	9	3	
小計	233	231	226	232	234	236	271	237	218	218	229	261

(実人数)

新規	3			1			2		1			1
終了		2		2			1			1	2	

合計 2,826

3. 概況及び動向

届出上20名定員だが、H28.3までは「小規模型通所介護」での運営のため1日平均13名の定員での運営状況である。介護度別に見ると年平均で要介護3が「30.1%」、要介護1が「28.4%」と利用実績が多い状況。平成27年度に介護報酬改定が行われ、小規模デイの基本単位部分は単純計算で8~9%減額されており、介護保険請求額はマイナスとなってしまった。

新規および終了者においては同数となっており、前年度と比較すると総数では微増しているものの、新規利用というより回数増希望により増加したものと考察される。平成28年度からは小規模型デイは廃止され、地域密着型デイへと移行されるため、現在の枠内で移行運営していくのであれば情報収集と体制整備を要する。

4. 課題

市内デイ総数は過渡期にあり、新規利用者の獲得には何らかのルートを確保する必要があると考える。既定路線の居宅事業所からの依頼だけでなく、事業所独自で地域に利用希望を募る等の広報活動等も検討課題。また、併設事業所としての強みと弱みが混在しており、デイからショート、デイから施設入所等に流れた利用者も本年度もあり、新規利用および利用日増を行ったとしても流れた場合にはデイとしては利用減にしか繋がらず、定期的な安定利用者数確保には何が必要で何を変わっていくべきなのかを法人として考察することが必要である。平成28年度からは当デイは地域密着型デイに移行されるが、市内28のデイの内16のデイが地域密着型に移行されるので、情報収集を強化して利用増と安定した運営が確保されるよう考察することが課題である。

事業所名

居宅介護支援事業所しいの木の郷

1. 収入

	平成26年度	平成27年度	前期比
介護保険請求額	9,180,490	9,242,213	100.7%
利用者負担額	895,396	873,638	97.6%

2. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	1	1	1	0	0	1	0	1	1	2	1	1
要支援2	0	0	0	1	1	1	1	1	3	3	0	0
要介護1	24	23	20	19	19	18	20	21	21	21	21	25
要介護2	16	15	15	15	17	18	21	21	22	21	18	15
要介護3	10	12	10	10	12	10	10	8	7	9	9	11
要介護4	7	7	6	6	10	7	7	7	7	9	9	12
要介護5	7	7	7	10	7	10	9	8	9	7	7	7
小計	65	65	59	61	66	65	68	67	70	72	65	71

(実人数)

新規	2	0	1	3	5	4	6	0	2	4	2	4
終了	0	4	3	1	3	1	0	2	0	1	4	2

合計 794

3. 概況及び動向

4月より包括圏域や名所が変更になり1包括が増え6か所で始動している。

このことにより包括支援センターから居宅に委託をしない事業所が増えてきた為、返還することになる。

特殊寝台・車椅子に関しても介護度3からでないとなりが難しくなる傾向にある。

支援をしていくに当たり、訪問介護・福祉用具に自費利用の傾向が増えてくることが予想される。

また病院から癌末期の状態で在宅に戻られる方が多いので支援を組むにあたり早急な対応が重視される。

4. 課題

併設事業である訪問介護・通所介護・短期入所生活介護等への情報提供を積極的に行い円滑に連絡をとる事ができた。予防プランを返還することになったが、他県の認定調査の依頼を受けることができたので契約を結び今後も積極的に受けて行く。

個々のニーズに合ったサービスとプライバシーに配慮した質の高いサービス提供を充実をはかるべく、事業運営を心がけていく。

事業ないカンファレンスを行い情報収集強化をしていくことも必要である。

事業所名

地域包括支援センターしいの木の郷

1. 収入

	平成26年度	平成27年度	前期比
介護保険収益	9,014,979	9,943,368	110.3%
受託事業収益	17,364,980	17,319,280	99.7%

2. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	70	71	73	72	74	81	77	71	69	64	56	52
要支援2	125	125	121	129	121	122	134	118	121	113	107	91
要介護1												
要介護2												
要介護3												
要介護4												
要介護5												
小計	195	196	194	201	195	203	211	189	190	177	163	143

(実人数)

新規	12	6	6	6	6	7	9	4	2	2	6	7
終了												

合計 2,257

3. 概況及び動向

平成27年1月に保健師が、同年8月に主任ケアマネージャーが退職し、他事業所や相談者に負担を掛ける状況となってしまったため、今年度をもって受託契約を終了することとした。
担当圏域の見直しがあり、平成28年1月から新事業所へケースの受け渡しを開始したため、請求件数が減少している。

4. 課題

後任の事業者へ業務を引き継ぐ際に一番の問題となったのが支援経過の引継ぎであった。
事業者ごとに使用する介護保険ソフトが異なるため、データの整合性や保持できる量に差があり、最終的には出向職員による手作業での移行となってしまった。
受託事業である以上は開始、終了が伴うため、地域包括ケアシステムを推進するためには市町村が主導となり、データベースを共有化する等の対策が必要であると考えます。

事業所名

しいの木の郷訪問介護事業所

1. 収入

	平成26年度	平成27年度	前期比
介護保険請求額	14,462,618	12,935,018	89.4%
利用者負担額	1,497,469	1,471,733	98.3%

2. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	39	39	43	50	41	48	37	38	49	44	42	49
要支援2	60	73	79	82	70	73	99	81	84	78	87	89
要介護1	132	123	133	144	134	164	142	133	145	134	135	155
要介護2	53	51	54	36	31	38	64	70	64	59	47	45
要介護3	58	73	46	37	38	38	41	7	14		20	21
要介護4										2		
要介護5			58	9								
小計	342	359	413	358	314	361	383	329	356	317	331	359

(実人数)

新規			2	2	1	2			3	2		2
終了			1	2		1	1	4	1			

合計 4,222

3. 概況及び動向

介護保険制度改正でサービス単位数の減少により、また、3Fケアハウスの閉鎖に伴い、利用者数の減少などにより介護保険請求額が減少した。それに対し、2割負担の方が3名いることと、自費対応が増えている為、利用者負担額の現象は少なかった。今後、しいの木の包括の閉鎖により新規の問い合わせが極端に減少したことや、制度移行後要支援者が減少する可能性があることから、更に介護保険請求額が減少すると思われる。

4. 課題

- ・制度移行後、自費での対応のニーズが更に増加すると思われるため、利用者様への説明及び、利用時間ごとの料金設定以外に、サービス内容ごと(一般的な掃除・換気扇やエアコンなどの大掃除的な掃除)の料金設定も検討。
- ・幅広いニーズに応えるために、若い世代のヘルパーの増員が必要。

拠点区分: ケアハウス

事業所名

ケアハウスしいの木の郷

1. 収入

	平成26年度	平成27年度	前期比
措置事業収益	18,975,752	15,713,180	82.8%
運営事業収益	18,769,196	21,991,560	117.2%

2. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月初人員	21	21	20	20	20	21	21	21	20	21	21	21
小計	21	21	20	20	20	21	21	21	20	21	21	21

(実人数)

新規	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
終了	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

合計

248

3. 概況及び動向

入居者は平成26年9月の定員減少から大きな変化なく経過している。
近隣の市町村や事業者へ営業活動を行い、空室の有無を周知することで認知度の向上を試みた。
平成28年5月時点では入居者22名となっており、見学の間い合わせも増える等の反応がみられる。
また、生活保護受給者の入居も検討し、新たな料金体系を策定し、受入体制を整えた。

4. 課題

入居者の確保が課題である。
完全に自立している方は在宅での生活を望み、要介護状態にある方についても特別養護老人ホームや有料老人ホーム等が充実したことで軽費老人ホームを選択する方がより少なくなったように感じている。
今後は支援と介護の狭間で困っている方をターゲットとし、併設サービスである訪問介護やデイサービスを活用しながら長期居住が可能となるよう支援を行っていく。

拠点区分:花ノ木の郷

事業所名

特別養護老人ホーム 花ノ木の郷

1. 収入

	平成26年度	平成27年度	前期比
介護保険請求額	297,287,169	304,554,084	102.4%
利用者負担額	63,105,564	61,276,999	97.1%

2. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	292	253	270	279	279	210	217	180	155	124	116	124
要介護2	570	613	589	557	527	554	589	540	558	548	493	502
要介護3	751	791	825	896	875	792	867	870	876	865	783	780
要介護4	775	734	699	730	696	671	717	710	691	732	667	704
要介護5	283	347	330	325	341	360	351	360	470	496	516	545
小計	2,671	2,738	2,713	2,787	2,718	2,587	2,741	2,660	2,750	2,765	2,575	2,655

(実人数)

新規	1	4	1	2	0	1	2	2	3	1	1	1
終了	1	3	2	1	1	1	2	2	3	1	1	3

合計 32,360

3. 概況及び動向

平成27年4月の介護保険制度の改正の影響及び特養に入居を希望する要介護者御家族の施設選別の目が非常に厳しくなっており、これに応えられる介護サービスを安定的継続的に提供していくことが今後の最も大きな課題であると認識して、職員一人一人日々の研鑽に努めているところです。このような状況の中、当施設においても次第に全体の要介護度が上がってきて、平成27年12月より日常生活継続加算が受けられるようになっております。平成26年度は年間30名退所者がいましたが、27年度は21名でした。地域に特養や老健が毎年開設されており、どこのユニット型特養に入所申込しても、比較的早く入所できるようになりました。

4. 課題

待機者の安定確保が今後の課題です。

地域の病院や老健の相談員とも連携していくことが大切と思われま。

契約が3か月ベット確保しなくてはならないので、入院者が出ると、その間ショートで対応するに苦慮しています。

事業所名

ショートステイ 花ノ木の郷

1. 収入

	平成26年度	平成27年度	前期比
介護保険請求額	27,492,037	24,713,191	89.9%
利用者負担額	4,732,113	3,896,350	82.3%

2. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	18	8	9	13	20	23	12	19	36	18	12	26
要介護2	14	24	11	14	45	18	35	27	35	35	28	32
要介護3	41	41	52	54	59	65	70	57	46	56	68	96
要介護4	110	119	123	109	114	130	103	60	71	72	79	83
要介護5	30	25	0	2	0	2	6	33	33	45	29	21
小計	213	221	195	192	238	238	226	196	221	226	216	258

(実人数)

新規	29	29	36	35	35	38	40	40	44	41	35	44
終了	30	29	36	34	34	37	44	40	40	43	35	45

合計 2,640

3. 概況及び動向

10床の内、ロングショートが3名から4名利用されています。
 ケアマネージャーからの緊急ショートの間い合わせについては、入院者の居室(空床)を利用する等、柔軟に対応する事で、稼働率の向上につながっています。又、利用者の身体状況について、介護度の高いケースも多く、利用中の急変について救急車要請するケースもありました。

4. 課題

新規利用者獲得の為に、緊急ショートを受け入れを積極的に行っていく。
 利用者の細やかなニーズに対応できるよう、職員の理解と介護力を向上させていく。
 地域で生活いけるようケアマネージャーとの連携を図っていく。
 医療度の高い利用者をどこまで対応するのか、在宅での様子や既往が把握しづらく、家族との調整等においても、対応を困難となる場合が増えてきている。体調不良時のアプローチが在宅での他職種、家族が難しい)

事業所名

デイサービスセンター花ノ木の郷

1. 収入

	平成26年度	平成27年度	前期比
介護保険請求額	19,335,628	21,064,611	108.9%
利用者負担額	2,052,655	2,255,900	109.9%

2. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	4	5	4	4	5	4	5	5	4	4	9	9
要支援2	10	8	9	8	15	7	9	10	8	13	0	0
要介護1	89	107	122	121	106	104	90	74	83	65	71	87
要介護2	29	34	37	37	35	41	44	49	42	34	42	35
要介護3	32	38	30	22	22	19	28	34	58	59	60	54
要介護4	22	20	20	22	17	30	20	12	15	11	9	9
要介護5	8	9	9	9	10	12	13	5	0	0	0	0
小計	194	221	231	223	210	217	209	189	210	186	191	194

(実人数)

新規	4	1	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1
終了	3	2	0	0	1	0	2	1	2	1	0	26

合計 2,475

3. 概況及び動向

H26年度とH27年度で比較すると収入は1割分程増えた。

利用者人数が着実に減少している。

週に2～3回来て下さる方が大半なので、一人終了されると減少率大きい。

4. 課題

・利用者人数を増やす。

・介護度の重い方を増やしたい。

事業所名

居宅介護支援センター花ノ木の郷

1. 収入

	平成26年度	平成27年度	前期比
介護保険請求額	5,144,744	5,690,025	110.6%
利用者負担額	0	0	

2. 月別・介護度別利用者数(延人数・延回数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
要支援2	3	3	3	2	2	2	2	2	2	1	1	1
要介護1	14	16	16	14	14	13	11	11	11	11	12	12
要介護2	15	14	14	13	13	15	16	15	18	17	16	15
要介護3	2	3	2	2	4	4	6	7	8	9	9	8
要介護4	7	5	5	6	6	6	5	3	3	3	4	5
要介護5	3	4	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1
小計	44	45	42	39	41	42	42	40	44	42	44	43

(実人数)

新規	1	1	0	0	1	2	0	0	2	1	2	1
終了	2	1	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0

合計

508

3. 概況及び動向

常勤1名、非常勤1名。管理者が委託を含め平均39件担当。非常勤は平均3～4名。通常の事業所は一人当たり35名を目標としているので、担当件数は高水準で推移していると考え。

常に同法人事業所のショートステイ、デイサービス、特養へ利用者を率先して案内するよう心掛けているので、同一法人事業所の利益に貢献していると考え。また、管理者は地域介護支援専門員の代表も兼ねており、市役所や包括支援センターにも積極的に協力し地域貢献に努めているため、他の居宅介護支援事業所からも一目置かれており、その影響もあって同一法人事業所への利用者誘導に少なからず繋がっていると考え。

4. 課題

現行人数体制では、担当件数はほぼ最高値である。デイサービスやショートステイの利用人数を増やすには職員を増員する方法と考える。だが、人件費とデイサービスやショートステイの利益を天秤に掛け実益をどのようにとるかは考えなければならない。

また、デイサービスは機能訓練設備は無きに等しい状態なので、機能訓練を重んじる今日の通所介護事業で、他の事業所より当デイサービスが設備が良いとは言えない。よって人数を増やしたところでデイサービスに実益をもたらすのは厳しいだろう。またショートステイに関しては空床のある時に積極的に利用者を受け入れる心構えが欠けている様に思われる。それは必然的に他の居宅支援事業所にも雰囲気は伝わるものであると考え